大型土のうを乗り越える際に吊バンドに躓き転倒

転倒ー１

災害発生時記録						
発生月日　時	10月31日（月）15時30分		工事内容	橋梁下部工		
被災者	職種	鳶工	経験年	31	所属	一次下請け
被災程度	右尺骨鉤状突起骨折					

災害発生状況（写真）

四角支柱組立作業において材料を運搬中、
大型土のうを乗り越えようとした時、吊バンドが
足に引っ掛かり、バランスを崩し転倒。

初期の対策状況含む事項(写真含)

被災者は事故後、多少の痛みがあった程度だったので、そのまま作業を継続した。
夜、宿泊先で痛みが徐々に強くなってきたため翌日、職長に事情を説明。
大事を取って病院で診察した結果、骨折が判明。2ケ月の通院加療が必要と判断された。
（休業60日で処理）

番号	災害発生要因	人的要因	物的要因	管理的要因	同種工事の再発防止対策	コメント(追記・確認すべき事項)
1	作業終了時間が近づいていたため近道行為をしたこと	◎			1. 定められた通路を使用するよう教育指導を徹底した	近道行為での事故は非常に多い。 近道行為の原因は安全通路が不適切な 場所に設置されている場合が多いことから
2	安全通路の表示等が不十分だったこと			○	2. 安全通路の表示等を増やした	現場では通路の設置に関しては合理的な 場所に設けるよう努めることが重要。

調査記入時の注意点ーー①　所属欄は5項目の該当する項目に○マークの記入　　②3要因(人的･物的･管理的)に関係･該当する要因に○ー重要要因と思われる事項に◎を記入してください。（添付要因資料参照）